

(仮称) 次世代交流センター建設事業  
(設計・施工一括発注方式)  
公募型プロポーザル 提案評価基準

令和8年5月

日進市

## 1 第1次審査（書類審査）

### （1）審査方法

提出された技術提案書について、選定委員会の各委員が本評価基準に基づき個別に評価し、採点する。

第1次審査の結果、得点の高い上位4者を第2次審査対象者として選定する。

ただし、応募が4者以下の場合は、第1次審査を省略し、第2次審査を実施する。  
この場合においては、第2次審査において書類審査を併せて実施する。

### （2）評価方法

評価は、各委員が100点満点で採点し、その合計点により順位を決定する。

段階	評価の段階の基準	評価点
A	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が、実践可能かつ効果的であるなど、特に優れている。	配点× 1.0
B	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が、実践可能かつ効果的であるなど、優れている。	配点× 0.8
C	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されている。	配点× 0.6
D	「評価の視点」の内容等に関して、やや不十分である。	配点× 0.4
E	「評価の視点」の内容等に関して、不十分である。	配点× 0.2

※ 価格の評価は、20点×（提案価格のうち最低価格）／（自社の提案価格）とする。

### （3）評価項目及び配点

評価項目	評価事項	評価の視点	配点
企業・技術者に関する評価	設計実績 施工実績	庁舎及び公共施設（庁舎以外）の実績は十分か（過去10年以内） ・ 3,000㎡以上の庁舎及び公共施設（庁舎以外）の設計・工事監理・施工実績が豊富か。	5
	統括責任者、設計業務管理技術者、工事監理業務管理技術者、現場代理人等の業務実績	庁舎及び公共施設（庁舎以外）の実績は十分か（過去10年以内） ・ 3,000㎡以上の庁舎及び公共施設（庁舎以外）の各技術者としての実績が豊富か。	5

	地域精通度・地域貢献度	各企業の営業所等の所在地	5
		市内公共施設の設計・施工実績（過去10年以内、改修設計・改修工事含む）	5
企画提案	当該事業の理解度 提案の的確性、独創性、実現性	（1）「（仮称）次世代交流センターにおいて市民にとって使いやすく気軽に立ち寄れること及び地域共創を目指して産官学が連携するイノベーション拠点として位置づけるための設えや工夫」 ・次世代交流を実現するための提案 ・より良い市民サービスを実現するための提案	20
		（2）「保健センターや庁舎を利用する子育て世代への配慮」 ・保健センターや庁舎機能を持つ本事業の施設を利用する子育て世代などへの配慮についての提案	20
		（3）「工事中の安全性を保ち工期内、予算内に作り上げるとともに運営コストを抑えるための提案」 ・行政サービスを継続しながらの工事に対する安全性の提案 ・令和11年3月までの工事完了に対する施工計画の提案 ・予算内に作り上げるための提案	20
コスト評価	価格	予定価格内に計画されているか。	20
合計			100

#### （4）第2次審査対象者の選定

評価点の合計に基づき、上位4者を選定する。

評価点と同じであった場合、次のとおり上位者を決定する。

- ① 評価基準表中の「企画提案」の合計点が高い者
- ② ①と同じであった場合、提出された価格の低い者

## 2 第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

### （1）審査方法

第1次審査により選定された者に対し、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、提案内容及び説明内容を総合的に評価する。

## (2) 評価方法

各委員が100点満点で評価し、その合計点（100点満点に換算）により順位を決定する。

## (3) 評価項目及び配点

評価項目	評価事項	評価の視点	配点
提案者の 適格性	プレゼンテーション 及びヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門技術力を有しているか。</li> <li>・ 取組意欲があるか。</li> <li>・ コミュニケーション能力があるか。</li> <li>・ 当該事業を理解しているか。</li> <li>・ 提案内容的確性・独創性、実現性などの総合評価。</li> <li>・ 建設コスト管理及びライフサイクルコストへの配慮（予算内での実現可能性、コストパフォーマンス、運営コスト）</li> </ul>	100
合計			100

## 3 事業者の決定

第1次審査及び第2次審査の合計点（200点満点）が最も高い者を最優先候補者として選定する。なお、提案者が1者のみの場合においても、評価が120点以上である場合、本プロポーザルは成立するものとする。

評価点が同じであった場合、次のとおり上位者を決定します。

- ① 評価基準表中の「企画提案」の合計点が高い者
- ② ①が同じであった場合、評価基準表中の「提案者の適格性」の合計点が高い者
- ③ ②が同じであった場合、提出された価格の低い者